

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 2 日	
佐賀県知事 殿	
提出者 株式会社日本デリカサービス 九州工場 住 所 佐賀県三養基郡みやき町大字東津2352番1 氏 名 九州工場長 伏見 匡央	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0 9 4 2 - 9 6 - 9 2 5 1	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社日本デリカサービス 九州工場
事業場の所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字東津2352番1
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0 9 食品製造業
② 事業の規模	7 6 4 百万円
③ 従業員数	3 0 5 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物統括責任者：工場長　＜廃棄物処理方針の策定、各種事項の決定・承認＞

廃棄物管理担当責任者：工務課長及び工務課員

＜廃棄物処理計画の作成、管理状況の把握と情報の見える化、
電子マニフェストのシステム運用指導と全体管理、監督官庁への
各種報告、処分場の定期視察、従業員に対する教育・啓発、他＞

廃棄物処理担当者：製造課長及び製造係長

＜廃棄物の分別管理、削減案の検討実施、従業員に対する教育・管理＞

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り _t	別紙の通り _t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	別紙の通り
	排 出 量	別紙の通り _t	別紙の通り _t
	(今後実施する予定の取組)		
①現状	・加工残量のフィードバックによる作り過ぎの抑制		
	・原材料、半製品等の落下量の削減による製造ロス抑制		
	・歩留向上による廃棄物量の削減		
	・廃棄ロスの発生状況や歩留等のデータが見える化し、目標を立てて削減につながる改善を進め、また、その精度を上げていく		
②計画	・今後も継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	・従業員に対し、分別についての教育
	・原料用金属缶等は金属資源として有価物化に転換実施
①現状	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	・今後も継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） ・ 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） ・ 凝集剤等の見直しを行ない、含水率低減、処理状況改善による発生量抑制を実施していく ・ 外部業者との廃水処理維持管理契約を継続し、適正な運転管理に努める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（今後実施する予定の取組） ・ 今後も継続 ・ 生産排水の抑制を行い、発生汚泥の抑制に努める		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

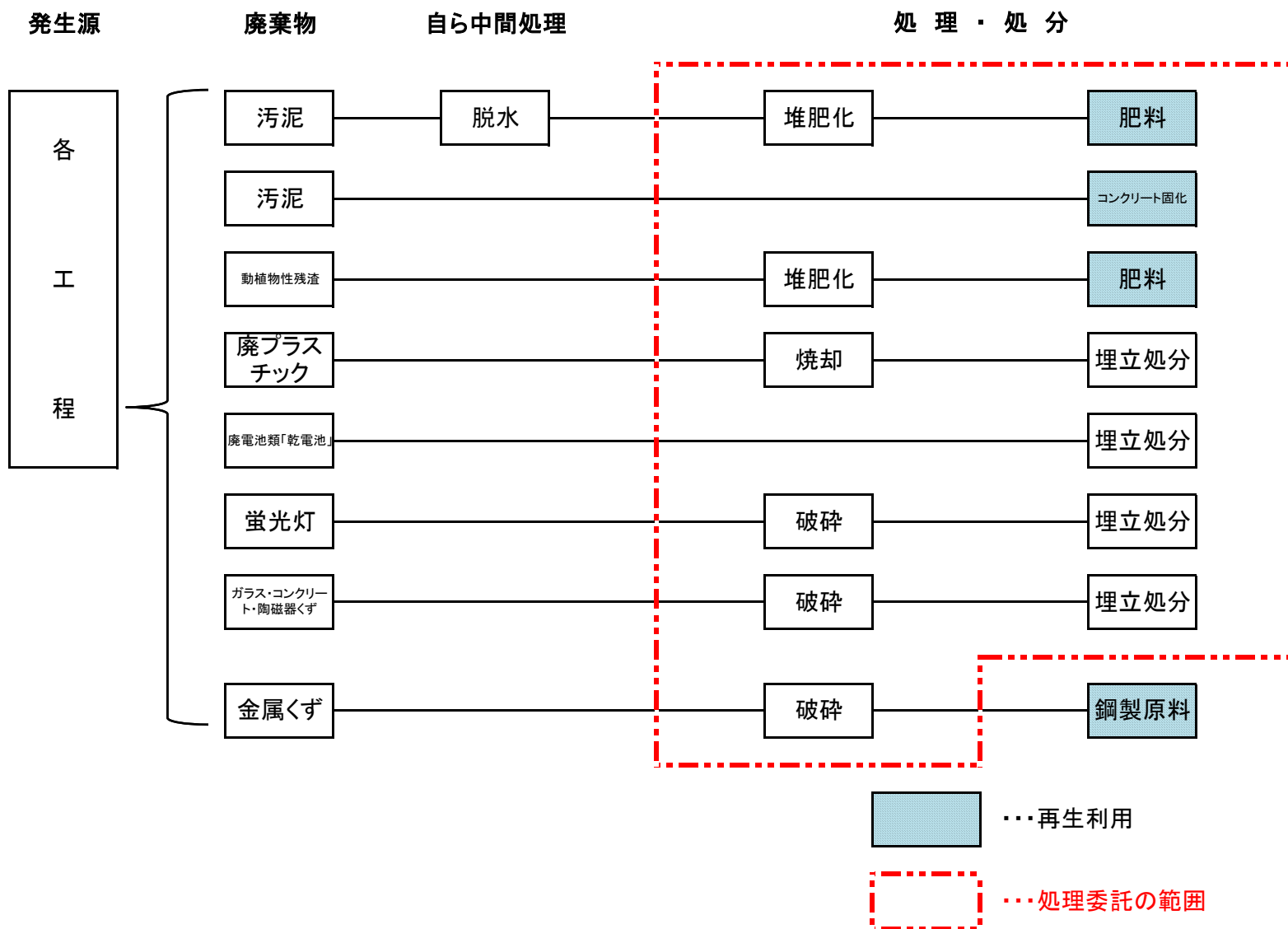
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		(今後実施する予定の取組)		
		・ 特になし		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)
(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	排 出 量	0.000 t	2704.920 t	11.720 t	0.021 t	295.690 t	378.670 t	0.180 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	排 出 量	0.000 t	2700.000 t	10.000 t	0.015 t	290.000 t	370.000 t	0.150 t	t	t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	2125.200 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥（泥状のもの）	金属くず	蛍光灯	動・植物性残渣	廃プラスチック類	廃電池類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	2100.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t

